





平成24年度 長崎県建設産業人材育成連携推進委員会 長崎県の産業を支える人材育成事業(地域を支える建設分野の人材育成事業) 実施プログラム一覧

実施名	実施日		実施期間 (人・単位)	実施場所	企業名・機関名	学校名	参加学科	学生	参加人数	教育活動上の位置づけ
	始期	終期								
建設現場実習										
建設現場実習(職工)	H23.1.25	H23.1.25	1	佐世保工業高等学校	佐世保工業高等学校	佐世保工業高等学校	土木科		30	
建設現場実習(職工)	H23.2.14	H23.2.14	1	鹿町工業高等学校	建設現場実習九州建設協会福岡支部	鹿町工業高等学校	土木技術科	4	20	実習
建設現場実習(職工)	H23.3.15	H23.3.15	1	大村工業高等学校	大村工業高等学校	大村工業高等学校	建設工業科		40	
合計			3						110	
現場実習										
建設現場実習	H23.1.12	H23.1.12	1	九州新幹線九州1-1 中津川地区工事現場	(株)新幹線建設 運輸建設局九州支店 新幹線建設九州支店九州新幹線建設局	佐世保工業高等学校	土木科		30	
建設現場実習	H23.1.17	H23.1.17	6	佐世保市 建設事務所 佐世保市	佐世保市 建設事務所	佐世保工業高等学校	土木科	1	30	工業技術実習
建設現場実習	H23.1.18	H23.1.18	5	佐世保市 建設事務所 佐世保市	佐世保市 建設事務所	佐世保工業高等学校	土木技術科	2	30	実習
建設現場実習	H23.1.21	H23.1.21	2	大村市 建設事務所 大村市	大村市 建設事務所	大村工業高等学校	建設工業科		20	
建設現場実習	H23.1.23	H23.1.23	2	西田ハルフィン建設工事現場	西田建設 鹿野建設	大村工業高等学校	建設工業科		20	
建設現場実習	H23.1.27	H23.1.27	7	佐世保市 建設事務所 佐世保市	佐世保市 建設事務所	佐世保工業高等学校	土木科	2	30	実習
建設現場実習	H23.1.27	H23.1.27	7	佐世保市 建設事務所 佐世保市	佐世保市 建設事務所	佐世保工業高等学校	土木技術科	2	30	実習
建設現場実習	H23.1.27	H23.1.27	7	佐世保市 建設事務所 佐世保市	佐世保市 建設事務所	佐世保工業高等学校	土木技術科	2	30	実習
建設現場実習	H23.1.27	H23.1.27	7	佐世保市 建設事務所 佐世保市	佐世保市 建設事務所	佐世保工業高等学校	土木技術科	2	30	実習
建設現場実習	H23.1.27	H23.1.27	7	佐世保市 建設事務所 佐世保市	佐世保市 建設事務所	佐世保工業高等学校	土木技術科	2	30	実習
合計			45						245	
インフラ長寿化体験実習										
インフラ長寿化体験実習	H23.7.20		1	佐世保工業高等学校	佐世保工業高等学校	佐世保工業高等学校	土木科		4	
インフラ長寿化体験実習	H23.7.20		1	佐世保工業高等学校	佐世保工業高等学校	佐世保工業高等学校	土木技術科	5	5	体験研究
合計			2						9	
インフラ長寿化体験実習										
インフラ長寿化体験実習	H23.8.20	H23.8.20	7	佐世保市	佐世保市 建設事務所	佐世保工業高等学校	土木科		4	
インフラ長寿化体験実習	H23.8.20	H23.8.20	7	佐世保市	佐世保市 建設事務所	佐世保工業高等学校	土木技術科	5	5	体験研究
合計			14						9	
技術者等による学校での実践的指導										
技術者等による学校での実践的指導	H23.9.18	H23.9.18	20	佐世保工業高等学校	佐世保工業高等学校	佐世保工業高等学校	土木科		20	
技術者等による学校での実践的指導	H23.9.18	H23.9.18	20	鹿町工業高等学校	鹿町工業高等学校	鹿町工業高等学校	土木技術科	2	2	土木実習
技術者等による学校での実践的指導	H23.9.20	H23.9.20	20	大村工業高等学校	大村工業高等学校	大村工業高等学校	建設工業科		20	
合計			60						112	
技術者等による学校での実践的指導										
技術者等による学校での実践的指導	H23.10.18	H23.10.18	6	大村工業高等学校	長崎県建設工業協会(鹿野支部)	大村工業高等学校	建設工業科	2	40	実習
技術者等による学校での実践的指導	H23.10.18	H23.10.18	6	佐世保工業高等学校	長崎県建設工業協会(佐世保支部)	佐世保工業高等学校	土木科	1	30	工業技術実習
技術者等による学校での実践的指導	H23.10.18	H23.10.18	6	鹿町工業高等学校	長崎県建設工業協会(鹿野支部)	鹿町工業高等学校	土木技術科	2	2	体験研究
技術者等による学校での実践的指導	H23.10.18	H23.10.18	6	鹿町工業高等学校	長崎県建設工業協会(鹿野支部)	鹿町工業高等学校	土木技術科	2	2	体験研究
合計			24						84	



「安全具の点検・確認」



「作業手順の確認」



「敷板と単管ベースの設置」



「柱の組立て」



「梁および屋根の組立て」



「小屋組み組立て完了」

高度熟練技能者による単管小屋組みの組立て・解体実技指導



「小屋組み」



「鉄筋の結束練習1」



「鉄筋の結束練習2」



「ベース筋の組立て」



「柱筋の組立て」



「梁筋の組立て」



「鉄筋の組立て完了」

高度熟練技能者による地中梁鉄筋の組立て実技指導



「鉄筋」

本校土木技術科の実習内容等





長崎県工業高校教職員スキルアップ研修

③ 2009年(平成21年)12月4日金曜日

長 崎 建 設 新 聞

(第2期建設物販) 第4768号

職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会が主催する「長崎県工業高校教職員スキルアップ研修」が1日から2日にかけて、長崎県工業高等学校で開催された。国・交通省が建設技能の継承や建設技術者の確保・育成に役立ち取組むとして、この研修を実施した。一筆書技能者養成を重点とする建設技術者の一環、建設師会専門団体九州地区実業大会と建設師会教育研究協会が協賛した。



鹿町工業で教職員スキルアップ研修

専門工事業の『技』を体験

若手技能者の養成に役立てている建設学校の教職員を対象に、由緒正しき実務経験者を講師に迎え、その実務的かつ高い技術の継承や職生の教育に力加えて、これを目的として実施された。対象職種は鉄筋・型枠・足場の組立て、鉄筋組立の2職種に限定し、足場組立は、作業内容が継続し、足場組立について本県を初め、土木や建設の教職人が熱心に実務・現場での施工方法や安全対策、作業の進め、細かな注意点をなどについて手解きを受け、専門工事業のプロの「技」を体験

鹿町工業での教職員実習(足場組立の様子)

初めに追加した建設工業高校の山崎建設教員。これまでに現場での経験が無く、非常に楽しかった。下層を組むための方法などでも驚かされた。長崎県での開催も非常に助かった。などと同様、鹿町工業高校の山崎公浩教員は「専門工事業者の障りや懸念が取り除かれた。今後、生徒に教えるには、必ず自分達がつくり出す必要がある。今回の取り組みを大きな糧とし、今後の研修と学校の連携もしていきたい」と話した。

本研修の事務局を務める鹿町工業教育訓練センターの吉井文昭専務理事は「子どもが建設に来ても、先手が建設を語れないこともあると思う。この体験を通じて、子どもも理解が深められたらいいと思う。今後は訪問講座のような形で、いつでも実施してほしい」と話した。

九州地区連合会の杉山亮蔵会長は、専科制は万全の体制で送り出すのが、業界の現状で建設業自体が受け入れられないことが残念。きちんと受け入れて、若手を育てることが大切だと、業界の現状を憂いた。

本研修会に講師として協力した団体は以下の通り。

▽五筆書技能者講習会(鹿町工業)

▽長崎県建設工業教育研究協会(鹿町工業)

▽建設師会(鹿町工業)

▽建設師会九州地区実業大会(鹿町工業)

主催：(職) 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター
 協賛：長崎県工業教育研究会・建設産業専門団体九州地区連合会



長崎県工業高校教職員スキルアップ研修



「鉄筋の組立て」



「ガス圧接」



「足場の組立て・解体」



「型枠の組立て・解体」

『長崎県における人材育成教育』の課題

- ・国や県ならびに建設産業の団体や機関が連携した、工業高校の建設系学科に在籍する生徒への人材確保・育成のためのプロジェクトにいかに関与して連携推進していくか。 **(連携体制の構築、予算の確保)**
- ・在学中の工業高校生を対象とした、資格取得に対する有効な支援体制の整備（「建設教育訓練助成金（認定訓練）制度」の運用や「公共職業能力開発施設」における職業訓練等の積極的な活用）が図れないか。 **(資格取得の資金援助)**
- ・優秀な熟練技能者を講師等とした「ものづくり教育」を円滑に推進するための体制づくりをいかに進めるか。 **(熟練技能者等の活用)**
- ・建設業の魅力をいかに伝えて、後継者・継承者としての若年入職者をいかに確保していくか。 **(建設産業のイマ・アップ)**
- ・熟練技能者の高齢化に伴う、優秀な指導者の確保と次世代への継承及び実践教育の仕組みをいかに確立するか。 **(指導者の確保・育成)**

課題を踏まえた今後の取組方針

「**将来の建設産業を担う人材の確保・育成**」は、工業高校の建設系学科の使命である。

工業高校の建設系学科においては、実社会における成果物（構造物）のスケールが大きく、教科書や記録映像による学習だけでは、使命感や達成感が伝わりにくく、生徒の興味・関心・就業意欲の向上への効果を促進するため、「**地域のインフラ整備事業の実体験**」をとおして学習していくのが最も効果的で、現場見学や現場実習は欠かせないプログラムであり、今後も建設業協会等と連携して継続していく。

建設産業を身近に感じ、建設マンとしての使命感と責任感を培うことは、将来の建設産業を担う人材の確保・育成にとって大変重要なことであり、多角的な人材育成連携推進体制を構築して取り組んでいかなければならない。

本県では、平成21年度に行政・教育界・建設産業界・研究機関等で組織されて発足した『**長崎県建設産業人材育成連携推進委員会**』を積極的に運営し、より多くの地域の建設関連団体及び企業、さらに大学や各種研究機関との協力・支援体制を充実させ、地域建設産業のニーズに応じた人材育成・確保に邁進していく。